

# 意見書案第 10 号

## 消費税10%への増税を中止することを求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を  
求める。

平成24年6月26日提出

提出者 中間市議会議員 宮下 寛

賛成者           "           田口 澄雄

                  "           青木 孝子

## 消費税10%への増税を中止することを求める意見書

1997年に強行された消費税5%への増税は、当時回復基調にあった景気をどん底に突き落としました。1996年度には90.3兆円あった税収が、2010年度では76.2兆円と落ち込んでいます。

消費税増税後の14年間で84兆円もの税収が減少しています。1997年には家計の可処分所得が伸びるもとでも、それを上回る負担増によって家計のそとが抜け、この間の消費が429万円から370万円へと大きく落ち込み、景気を悪化させました。

昨年、日本商工会議所、全国商工連合会、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会の4団体が「中小企業における消費税の転嫁にかかる実態調査」を行いました。その結果は、消費税を上げられた場合、「販売価格に転嫁できない」と多くの中小企業が答えています。売上高1000万円～1500万円の小規模企業・業者では71%にもおよんでいます。

こうした状態を抜け出していない今日、消費税を10%にすれば、暮らし、経済をいっそう冷え込ませ、景気をさらに悪化させる事は明らかです。

よって、政府に対し消費税増税の中止を求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成24年6月26日

中間市議会

提出先

|            |       |
|------------|-------|
| 衆議院議長      | 横路孝弘様 |
| 参議院議長      | 平田健二様 |
| 内閣総理大臣     | 野田佳彦様 |
| 財務大臣       | 安住淳様  |
| 経済財政政策担当大臣 | 古川元久様 |